

7. 猪名川流域下水道原田処理場

7-1. 沿革

一級河川猪名川は淀川水系に属し、大野山(猪名川町)をその源流に、大阪府、兵庫県の境を流下し、神崎川を経て大阪湾に注いでいます。そこに暮らす人々は猪名川の流れと自然を愛し調和しながら暮らしてきました。

しかし、昭和 30 年代の急激な都市化によりその清らかな流れは、生活排水、工場排水で汚染され悪臭さえ放つようになりました。

猪名川を貴重な水道原水とする流域周辺の各都市や、さらには美しい景観と美しい水をふるさとする猪名川になれ親しんだ住民には深刻な問題でありました。そこで清流を取り戻そうという人々の熱意と情熱に支えられ、豊中市、池田市、箕面市、伊丹市、川西市により府県にまたがる前例のない流域下水道事業がスタートしました。

その後の制度改正により流域下水道事業は、大阪府、兵庫県の事業となり昭和 46(1971)年には当時急激に都市開発の進んだ宝塚市、猪名川町、東能勢村(現豊能町)がこの計画に加わって、現在の流域下水道計画ができあがりました。



猪名川流域下水道 原田処理場

7-2. 主要年表

年 度	事 項						
昭和40 (1965)	・5月12日、猪名川流域下水道建設に関する覚書を締結（豊中市、池田市、箕面市、伊丹市、川西市） ・事業の施行は豊中市、伊丹市が他関係市から事務委託を受ける ・猪名川流域下水道計画の基礎調査及び計画設計をおこなう						
昭和41 (1966)	・都市計画決定および事業決定を受ける（11月7日公示） ・事業主体として、左岸幹線および終末処理場については豊中市、右岸幹線については伊丹市を指定 ・1系1／2処理施設供用開始（処理能力31,150m³／日）						
昭和43 (1968)	・事業主体が豊中市及び伊丹市から大阪府および兵庫県に変わる（下水道法第3条第2項） ・事業の施行は、処理場については府、県から豊中市が、管渠については左岸幹線を豊中市、右岸幹線を伊丹市がそれぞれ事務委託を受ける						
昭和44 (1969)	・4月25日、通水式挙行（豊中市、池田市、箕面市、伊丹市流入） ・1系3／4処理施設供用開始（処理能力46,730m³／日）						
昭和45 (1970)	・12月25日、下水道法の改正により、流域下水道が法制化され、府県管理が制定される ・1系処理施設完成（処理能力62,300m³／日）						
昭和46 (1971)	・流域下水道計画区域の変更（宝塚市、猪名川町、豊能町追加）および処理施設の変更（3系の拡張） ・2系工事着手						
昭和47 (1972)	・4月1日、流域下水道施設の維持管理協定の締結 委託 処理場委託 （府県 → 関係市町 → 豊中市）						
昭和48 (1973)	・2系1／2処理施設供用開始（処理能力114,600m³／日）						
昭和50 (1975)	・2系処理施設完成（処理能力166,900m³／日）						
昭和53 (1978)	・3系工事着手						
昭和57 (1982)	・3系（A列）1／8処理施設供用開始（処理能力251,600m³／日）						
昭和61 (1986)	・3系（B－1列）処理施設供用開始（処理能力293,950m³／日）						
昭和63 (1988)	・3系（B－2列）処理施設供用開始（処理能力336,300m³／日）						
平成3 (1991)	・3系（C－1列）処理施設供用開始（処理能力378,650m³／日）						
平成5 (1993)	・3系（C－2列）処理施設供用開始（処理能力421,000m³／日）						
平成10 (1998)	・3系（A－1列）高度処理施設供用開始 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">処理能力</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 5px;">402,230 m³／日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">・標準活性汚泥法</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 5px;">378,650 m³／日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">・高度処理</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 5px;">23,580 m³／日</td> </tr> </table>	処理能力	402,230 m ³ ／日	・標準活性汚泥法	378,650 m ³ ／日	・高度処理	23,580 m ³ ／日
処理能力	402,230 m ³ ／日						
・標準活性汚泥法	378,650 m ³ ／日						
・高度処理	23,580 m ³ ／日						
平成12 (2000)	・3系（A－2列）高度処理施設供用開始 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">処理能力</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 5px;">383,450 m³／日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">・標準活性汚泥法</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 5px;">336,300 m³／日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">・高度処理</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 5px;">47,150 m³／日</td> </tr> </table>	処理能力	383,450 m ³ ／日	・標準活性汚泥法	336,300 m ³ ／日	・高度処理	47,150 m ³ ／日
処理能力	383,450 m ³ ／日						
・標準活性汚泥法	336,300 m ³ ／日						
・高度処理	47,150 m ³ ／日						
平成13 (2001)	・3系（D－1列）高度処理施設供用開始 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">処理能力</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 5px;">407,020 m³／日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">・標準活性汚泥法</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 5px;">336,300 m³／日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">・高度処理</td> <td style="text-align: right; padding: 2px 5px;">70,720 m³／日</td> </tr> </table>	処理能力	407,020 m ³ ／日	・標準活性汚泥法	336,300 m ³ ／日	・高度処理	70,720 m ³ ／日
処理能力	407,020 m ³ ／日						
・標準活性汚泥法	336,300 m ³ ／日						
・高度処理	70,720 m ³ ／日						

年 度	事 項
平成14 (2002)	・3系(B-1列)高度処理施設供用開始 処理能力 ・標準活性汚泥法 ・高度処理 388,250m³/日 293,950m³/日 94,300m³/日
平成15 (2003)	・3系(D-2列)高度処理施設供用開始 ・スカイランドHARADA供用開始 処理能力 ・標準活性汚泥法 ・高度処理 411,820m³/日 293,950m³/日 117,870m³/日
平成16 (2004)	・3系(B-2列)高度処理施設供用開始 処理能力 ・標準活性汚泥法 ・高度処理 393,050m³/日 251,600m³/日 141,450m³/日
平成18 (2006)	・3系(C-1列)高度処理施設供用開始 処理能力 ・標準活性汚泥法 ・高度処理 374,280m³/日 209,250m³/日 165,030m³/日
平成20 (2008)	・3系(E-1列)高度処理施設供用開始 処理能力 ・標準活性汚泥法 ・高度処理 409,280m³/日 209,250m³/日 200,030m³/日
平成21 (2009)	・3系(C-2列)高度処理施設供用開始 ・急速ろ過池施設供用開始 (幅8.0m×長さ10.0m, 10池, ろ過速度300~450m/日) 処理能力 ・標準活性汚泥法 ・高度処理 390,500m³/日 166,900m³/日 223,600m³/日
平成28 (2016)	・3系(E-2列)高度処理施設供用開始 処理能力 ・標準活性汚泥法 ・高度処理 425,500m³/日 166,900m³/日 258,600m³/日
平成29 (2017)	・FIT制度を活用した民設民営による消化ガス発電事業へのガス供給
平成31 (2019)	・塩素混和池供用開始(1池増設) (鉄筋コンクリート造 池幅8.0m × 長さ40.1m(3列),31.5m(1列) × 有効水深3.9m)
令和2 (2020)	・急速ろ過池施設供用開始(2池増設) (幅8.0m×長さ10.0m, 2池, ろ過速度300~450m/日)
令和3 (2021)	・1・2系汚泥処理施設停止
令和4 (2022)	・1系水処理施設(62,300m³/日)停止 処理能力 ・標準活性汚泥法 ・高度処理 363,200m³/日 104,600m³/日 258,600m³/日
令和6 (2024)	・雨天時汚水処理施設(旧1系)供用開始(能力 311,000m ³ /日)
令和7 (2025)	・雨天時汚水処理施設(旧1系)供用開始(能力 191,700m ³ /日)

7-3. 計画処理面積及び人口

府県別	市町村名	計画処理面積(ha)	認可面積(ha)	計画処理人口(人)	排除方式
大 阪 府	豊 中 市	2,477.20	2,477.20	227,960	分流式 (一部合流式)
	池 田 市	595.00	379.01	23,500	〃
	箕 面 市	1,612.20	1,584.95	100,050	分流式
	豊 能 町	834.00	481.76	19,510	〃
兵 庫 県	伊 丹 市	1,296.76	1,296.76	115,100	〃
	尼 崎 市	20.00	20.00	100	〃
	宝 塚 市	730.70	730.70	41,100	〃
	川 西 市	2,749.80	2,749.80	171,600	〃
	猪 名 川 町	1,665.30	1,665.30	36,500	〃
合 計		11,980.96	11,385.48	735,420	

7-4. 業務状況

(1) 処理状況

年度		年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		区分						
汚水処理	高級処理	m ³ /年		34, 554, 547	30, 176, 195	30, 915, 237	30, 785, 364	31, 321, 710
	高度処理	m ³ /年		85, 276, 631	82, 827, 510	83, 760, 105	82, 432, 009	79, 725, 933
	日平均	m ³ /日		328, 305	309, 599	313, 321	310, 185	304, 240
※1	晴天時日平均	m ³ /日		268, 474	263, 666	260, 783	261, 335	259, 556
	簡易処理	m ³ /年		4, 135, 752	1, 686, 845	3, 147, 196	2, 730, 777	2, 141, 891
	焼却灰（湿）	t/年		2, 661	2, 462	2, 619	2, 542	2, 431
	し （スクリーンかす）	t/年		199	249	234	251	227
	沈砂	t/年		237	405	781	412	251
薬	次亜塩素酸 ナトリウム	t/年		807	707	884	1, 024	945
	PAC	t/年		1, 542	1, 585	2, 301	2, 238	3, 139
	消石灰	t/年		5	6	13	15	13
品	ポリ硫酸第二鉄	t/年		943	564	510	650	621
	高分子凝集剤	t/年		150	166	166	174	178
	使用電力量	kWh/年		47, 149, 270	43, 670, 682	43, 200, 352	43, 443, 322	42, 821, 891

※1 汚水処理量は「大阪府 水量に関する定義」による。

(2) 下水処理水の有効利用

年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
区分							
場 内 利 用		m ³	9,658,284	8,797,952	9,691,976	7,804,425	7,704,682
場外利用	せせらぎ用水	m ³	1,707,274	1,563,488	1,378,096	1,487,977	946,950
	クリーンランド送水	m ³	58,573	60,216	59,184	60,186	65,491
	Q 水 く ん	m ³	2,369	4,259	4,008	4,463	4,361
合 計 (場内+場外)		m ³	11,426,500	10,425,915	11,133,264	9,357,051	8,721,484
有 効 利 用 率			9.5%	9.2%	9.7%	8.3%	7.9%

(3) 消化ガスの有効利用

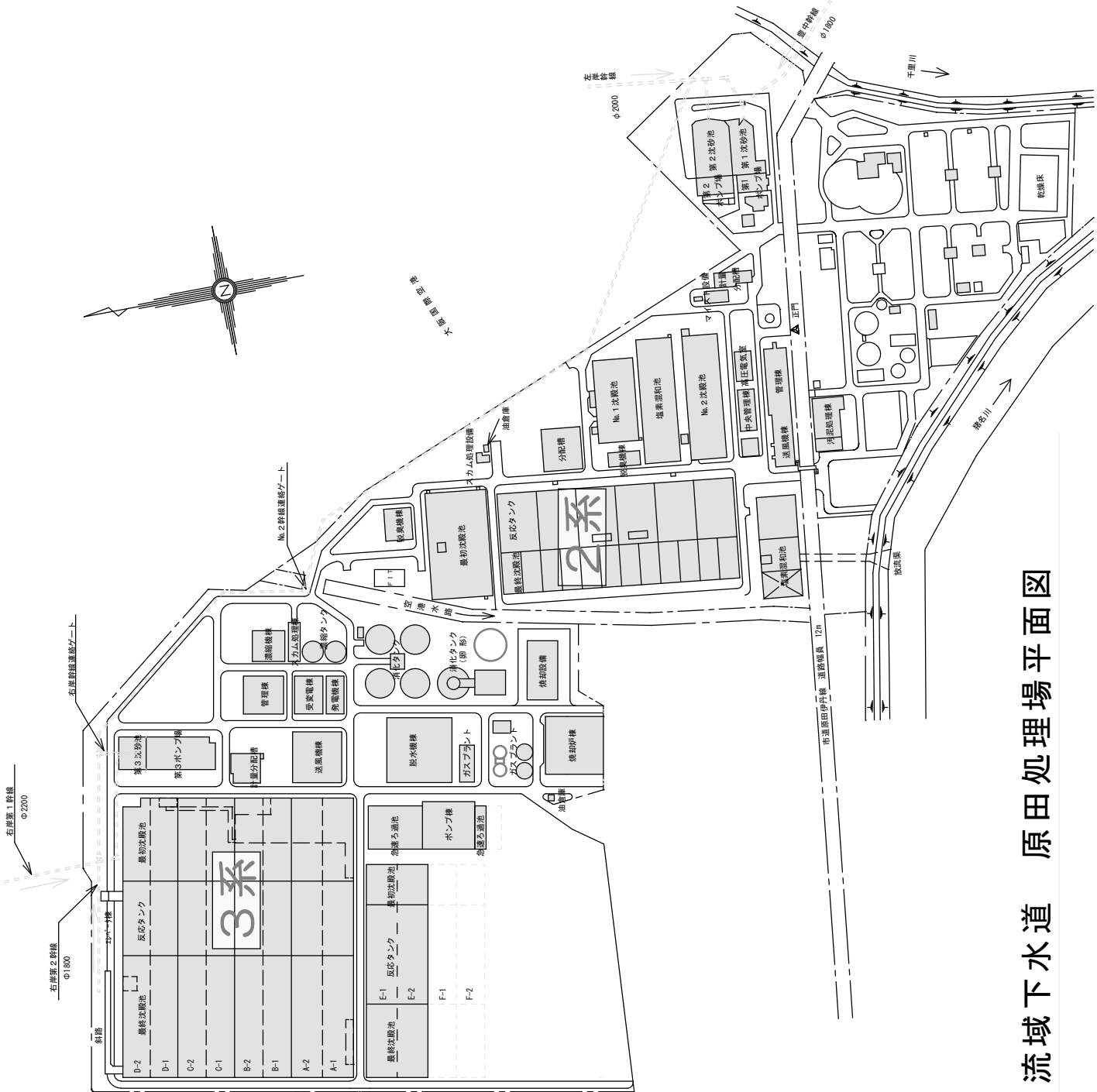
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
区分						
発 生 ガ ス 量	Nm ³	4,973,130	5,074,461	5,004,728	5,151,384	5,144,601
使 用 ガ ス 量	Nm ³	4,808,709	4,957,731	4,978,510	5,056,857	5,034,129
有 効 利 用 率		96.7%	97.7%	99.5%	98.2%	97.9%

(4) スカイランドHARADA

年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
区分						
利 用 者 数	人	86,725	82,767	74,196	78,165	80,306
駐 車 場 利 用 台 数	台	44,255	46,524	45,563	44,327	44,461

(5) 施設見学

年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
区分						
見 学 者 数	人	4,570	5,516	5,790	5,479	5,132
団 体 数	団体	78	72	73	71	71



猪名川流域下水道 原田処理場平面図

凡 例	
	既設の施設
	工事中の施設
	計画施設